

小・中学校の統廃合計画の撤回を

市は、小・中学校の適正規模を定め、統廃合を進めようとしています。

しかし、統廃合により教育効果が上がるとは言えないとの研究機関の分析結果や、小規模校の利点を示し、なぜ統廃合しなければならぬのか質しました。

また、市は計画を決めてから、保護者や地域住民への説明会を

行なっています。文部科学省は、「統廃合するか、しないか」も含めて丁寧な話し合いをするべきとの考えです。

計画はいったん撤回するよう強く求めました。



▲福山市の教育問題について文部科学省で懇談

障害をもつ子どもへのニーズにあった体制を

障害をもつ子の教育が十分に保障されるよう、特別支援学級の職員体制の増員や、少人数学級の実施を求めました。

また、市の面積に対し、少なすぎる通級指導教室を抜本的に増やすよう要望しました。

中学生の逮捕問題

福山市の中学生の警察逮捕者数は、2013年度28人（そのうち学校内逮捕は11人）、2014年度19人（学校内逮捕は9人）です。

今、福山市の小・中学校では、「生徒指導規程」に基づき、服装や数々の決まりへの違反を許さないとする

厳しい指導を行ない、かえって生徒の反発心を誘発している懸念があります。教育委員会は「対教師暴

力は、逮捕事案である「先守を守らなくてはならない」として、生徒を逮捕させています。しかし、指導に反発した生徒の感情的な行動には、教育的指導で対応するべきです。

「生徒指導規程」は、子どもの権利条約や憲法に抵触していないか内容を見直すこと、機械的な警察対応や行き過ぎは改めることを強く求めました。



校舎の耐震化を早く

福山市の学校校舎の耐震化率は、全国ワーストクラスです。

党市議団が11月11日、文部科学省を訪れた際、「子どもの安全を考え、第一に耐震化を進めるべき」「学校統廃合に関わらず推進すべき」と指摘されたことを述べ、校舎の耐震化を早急に完了させるよう強く求めました。

中学校給食を早く

心待ちにする多くの保護者の声にこたえ、給食調理室を確保できる学校から、自校完全給食を早く実施するよう強く求めました。



小・中学校に洋式トイレ設置

小学校43校（79基）、中学校25校（59基）の体育館に、洋式トイレが設置されます。校舎も順次、設置される予定です。

放課後児童クラブ 土曜日の開設時間が延長

働く保護者の実態にあわせて、開設時間を延長するよう要望し続けてきました。

1月9日から、土曜日の開設時間は午後5時までになります。



医師・看護師の確保と養成を

医師と看護師不足の解決をめざし、医師奨学金制度の創設や、看護師養成校の補助金増額など、自治体独自の取り組みを求めました。また、地域医療の担い手となる学生の定員増のため、看護師養成校の設置に取り組むよう、要望しました。



▲福山市医師会看護師養成学校の視察

高齢者虐待を防ぎ、介護職員の処遇改善を

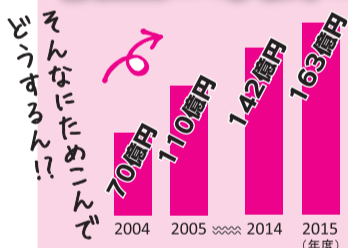
市内の介護事業所で、職員が80歳代の入居者に虐待を行っていたことが明らかになりました。介護はストレスを抱える仕事であり、専門性ととも高いモラルが必要で



市内の事業者は「深刻な人手不足で、資格や経験もない職員が増え、介護の質の低下が著しい」と語っています。

す。虐待防止の啓発や研修とともに、専門職員を確保できるよう労働環境の改善と介護報酬の引き上げを国に要望することを求めました。

税金は市民のために使って！



福山市の2015年度の財政調整基金（何にでも使える貯金）は163億円余もあり、全国でも有数の潤沢な

資金を持っています。この財源は、市民のくらし・福祉・教育の充実に使うべきです。



▲2016年度予算要望書を市長に提出

もっと投票しやすい環境を！

18歳選挙権が始まります。さらに多くの市民が投票しやすいよう、期日前投票や投票所・制度の改善・周知を求めました。

市は、市立大学への期日前投票所の開設と、他大学への設置も検討すると答えました。